「中国・アジア」ダイジェスト

2013.11.18－11.29

＊記事は東京発行・最終版

CHINA

11月18日（月）

■ノートパソコンの筐体製造
住友電工／マグネ合金

住友電気工業は、江蘇省にノートパソコン向けマグネシウム合金筐体の製造・販売子会社を設立する。同社がエレクトロニクス製品の筐体製造は初めて。ウルトラブックで採用実績。（9面）

11月19日（火）

■小型油圧ショベル中国生産
住友建機／都市土木・住宅建設向け

住友建機は、中国で8㌧級小型油圧ショベルの生産を年内にも始める。販売が順調な都市土木や住宅建設向け小型機のラインアップを強化。インドネシア工場でも林業仕様の小型機を投入。（8面）

■シチズン、腕時計ＯＥＭ調達
新興国向け／中国企業に委託

シチズンホールディングスは、主力の「シチズン」ブランドの腕時計をＯＥＭ調達に一部切り替える。中国の製造会社に候補に委託。新興国向け。自社生産する方法より原価を抑える。（9面）

■第一工業製薬、マーケ強化
中国・東南ア

第一工業製薬は、東南アジアや中国でマーケティング機能を強化する。このほどシンガポールに駐在員事務所を開設したほか、中国では貿易子会社での取扱商品の拡大を検討。（13面）

■ＹＫＫ　ＡＰ、30拠点に
内陸部拡充／中・高級マンション窓

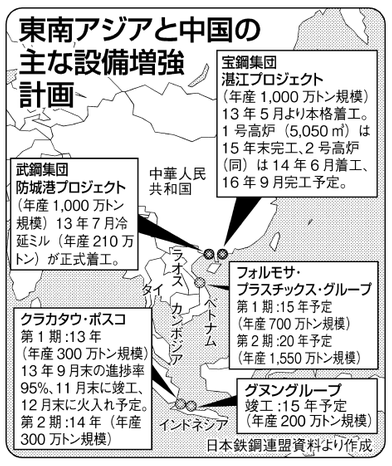
ＹＫＫ　ＡＰは、2016年度までに中国の営業拠点を現在の18拠点から約30拠点に増やす。内陸部を中心に営業支店網を拡充させる。中・高級マンションで住宅用窓の需要を確実に取り込む。（14面）

ａｕ（ＫＤＤＩ）は、韓国ＬＧエレクトロニクスと共同開発したスマートフォン「isai（イサイ）」を発売（田中孝司ＫＤＤＩ社長㊨李揆弘ＬＧエレクトロニクス・ジャパン社長㊧タレントの川口春奈さん㊥＝21日付）

11月20日（水）

■素材－中国・東南アリスク浮上
需給バランス悪化／市況が低迷

素材産業の業績は回復基調。だが成長を見込んでいた中国・東南アジアの減速が長期化し販売が低迷。需給バランス悪化で市況が低迷、採算性にも影響。新たなリスクとして浮上。（深層断面＝30面）



■経済訪中団、副首相と会談
関係改善申し入れ

北京を訪問中の日中経済協会の訪中団は、中国政府の汪洋副首相と会談し、冷え込んでいる両国の関係改善などを求めた。ビジネス環境の整備、省エネや環境分野の技術協力を申し入れた。（3面）

■無機抗菌剤、中国・東南ア拡販
シナネンゼオミック

シナネンゼオミックは、海外で無機抗菌剤を拡販する。中国や東南アジアで代理店網を整備。現地展示会などで抗菌製品の認知度向上を図る。「ゼオミック」を商標登録、ブランド展開。（13面）

11月21日（木）

■中国の経済構造改革を支援
日中経済協会／改革委と会談

日中経済協会は、マクロ経済運営・中国国家発展改革委員会の幹部と会談。中国が進める経済構造改革について説明を受けた一方、資源エネルギー・環境分野や高齢化社会対応などで協力。（3面）

11月22日（金）

■安川電機、溶接機を中国で開発
カイエルダーと合弁／高性能機

安川電機は、中国の溶接機メーカー・カイエルダーと合弁会社を現地に設立、高性能溶接機の開発に乗り出す。中国では自動車産業を中心にアーク溶接ロボットの需要が増加している。（1面）

■山善、立型ＭＣを中国で拡販
台湾製／国内で高付加価値化

山善は、海外向け特別仕様の立型ＭＣ「YMZ－850」を中国で拡販する。台湾製の機械を基に日本企業が国内工場で作り替えた工作機械で、山善が扱う差別化商品のラインアップに加えた。（9面）

■クリナップ、中国で生産
積水ハウスＯＥＭ／7000戸分

クリナップは、中国でシステムキッチンの生産を本格的に始める。瀋陽市などで分譲マンション開発を進める積水ハウスに、ＯＥＭ生産で高価格帯の製品。すでに約7000戸分の受注。（15面）

11月26日（火）

■ユニプレス、車体部品を製造
日産ＳＵＶ向け／大連に工場

ユニプレスは、大連市に現地企業と合弁で車体部品を製造する新会社を2014年1月に設立する。日産自動車のスポーツ多目的車（ＳＵＶ）向けに部品を供給する。現地でのプレス加工も。（3面）

■ホンダ、中国専用セダン増産
２工場体制／年20万台へ

ホンダは、2014年春にも中国専用車の中型セダン「クライダー（中国名＝凌派）」を増産する。広汽ホンダの黄埔工場と増城工場で生産。当初は年12万だったが、受注状況では年20万台も。（5面）

■医薬品情報、ネット配信
エムスリー／医師向け

エムスリーは、中国での合弁事業として準備していた医師向けの医薬品ネット情報サービスを始めた。すでに医師の3分の1を上回る約75万人の医師を、登録会員として獲得したという。（12面）

■中国・韓国語の観光ガイド育成
合格者は九州で有償案内

福岡県は、九州各県などと共同で中国語と韓国語による通訳案内ができる観光ガイドを育成する。独自の研修と試験を実施する。合格者は九州限定で有償案内ができる。（31面）

11月27日（水）

■知財分野で作業部会
日中韓ＦＴＡ／模倣品被害の改善

日中韓ＦＴＡの第3回会合が東京で始まった。知的財産権分野で作業部会を設置することを決定した。特許や著作権のルールづくりを協議。模倣品などによる被害の多発の改善に。（2面）

■中国・台湾から調達拡大
デンソー、香港に拠点／電子部品

デンソーは、汎用電子部品の中国からの調達を増やす。香港に駐在拠点を設けた。新規取引先の開拓などで調達機能を強化し、中国や台湾などからの部品購入量を増やす。（5面）

■出石、機械工具で合弁会社
大阪ウェル工場内／溶射部品

出石は、大阪ウェルディング工業（ＯＷ）と山東省に機械工具や溶射部品販売の合弁会社を設立、中国市場を本格開拓する。山東省の経済開発区の第一日本工業団地のＯＷの工場に本社。（7面）

■中国で建物リース
中国郵政向け／ＮＴＴファイナンス

ＮＴＴファイナンスは、中国で建物のリースを始める。中国郵政の中国郵政貯蓄銀行や郵便局向けに行う。まず8物件。中国郵政向け貨物用航空機リースも増やす計画。（23面）

11月28日（木）

■税控システム用プリンター
ＯＫＩデータ／税制改革対応

ＯＫＩデータは、中国の税控システム市場向けに小型で低価格の80桁水平紙送り式モデルのドットインパクトプリンターを開発した。税制改革が始まり、複写式の税務伝票印刷が必要。（10面）

次回は－

9日(月)は新聞休刊日ですので、「中国・アジア ダイジェスト」面の次回は16日（月）に掲載します。

11月29日（金）

■オリジン電気が「調色センター」
車・パソコン向け／年産10㌧

オリジン電気は、重慶市に塗料の「調色センター」を新設する。日系の自動車メーカー、現地のパソコン関連会社に技術、営業のサポートを強化。生産設備も導入、年産能力10㌧体制。（13面）

■ＣＣＳ、ＬＥＤ照明合弁
東莞博程光電科技と設立

シーシーエスは、中国でＬＥＤ照明を開発、生産、販売する合弁会社を設立する。東莞博程光電科技と設立する。検査工程での画像処理用ＬＥＤ事業を展開する。東莞の既存設備を活用。（13面）

TELOP

■明治、チルド牛乳を投入
華東エリア／950㍉㍑㌫340円（20日13面）

■中国バイオＶＢ百済神州と提携
独メルク／がん治療薬（時事＝21日12面）

■中国など５カ国に幹部職員
ＪＶＣケンウッド（22日10面）

■ＧＮＩ、発毛剤など中国で開発
泡状外用薬／台湾企業と提携（22日13面）

■中国で学生服寄贈
帝人（22日13面）

■ＣＯＰＤ薬、用途特許成立へ
ＧＮＩ／査定受領（26日12面）

■独エボニック、界面活性剤を生産
年８万㌧／化粧品向け（26日13面）

■独禁法関連で中国当局から調査
米クアルコム（時事＝27日12面）

■中国の溶接機メーカーに出資
安川電機（28日８面）

ASIA

11月18日（月）

■ラオス交通インフラ整備で合意
安倍首相、トンシン首相と会談

安倍晋三首相は、ラオスのトンシン首相とビエンチャンの首相府で会談。安倍首相はメコン川流域各国を結ぶ「東西経済回廊」など交通インフラ整備に日本が協力する方針を伝達。（時事＝２面）

■ミャンマー建設省と合弁
ＪＦＥエンジ／橋梁など年１万㌧

ＪＦＥエンジニアリングのミャンマー橋梁事業が新たな段階に入る。ミャンマーの建設省と合弁会社を設立する。橋梁など鋼構造物を年１万㌧製作。工場はヤンゴン市内に2014年４月操業。（７面）

ミャンマー合弁の新工場建設予定地（ヤンゴン市内＝ＪＦＥエンジ）

■積水化学、タイに新工場
塩ビ混練樹脂／年２万4000㌧

積水化学工業は、タイのラヨン県に住宅用給湯管など向け塩素化塩化ビニールのコンパウンド製造会社を新設、2015年１月稼働する。年産能力は２万4000㌧。コンパウンドで初の海外生産。（10面）

■伊勢湾海運、タイに新倉庫
工作機械・鋼材関連／日系向け

伊勢湾海運は、タイ・サムットプラカーン県で新倉庫を2015年１月に稼働する。自動車メーカーなどの日系企業が進出、現地需要を取り込む。工作機械や鋼材関連などの取り扱いを想定。（13面）

11月19日（火）

■ビッグローブ、アジア拠点
シンガポール／ＩＴインフラ

ＮＥＣビッグローブは、シンガポールに進出する。合弁会社を設立し、現地企業を対象にＩＴインフラを提供する。初めての海外拠点。マレーシアなど近隣諸国にもサービスを展開。（10面）

■血液バッグ工場、タイで稼働
川澄化学／年1000万㌔

川澄化学工業は、タイ洪水後に建設を進めてきた血液バッグ工場を本格稼働させる。アジア・中東向けの量産を担う。年間1000万㌔と、被災前の1.5倍に増強した。（12面）

11月20日（水）

■大建工業、インドネシア生産
住宅用中質繊維板／月産１万立方㍍

大建工業は、住宅建材用素材のＭＤＦ（中質繊維板）工場をインドネシアに開設する。最大50億円規模を投じて生産拠点を確保し、ライン１基から稼働する。月産能力は１万立方㍍。（１面）

■近藤製作所、タイで一貫生産
自動化設備／新興国向けロボット

近藤製作所は、タイで自動化設備の生産、販売を本格化。タイ工場のコンセイタイランドで部材調達から組み立てまで一貫生産。年内には新興国がターゲットのロボットシステムを投入。（８面）

■有明電装、無機ＥＬに参入
韓国・ニズテックと提携

有明電装は、無機ＥＬ事業に参入する。年内にＥＬ式の標識や看板などの製造・販売を始める。そのため韓国のニズテックコーポレーションと業務提携契約を結んだ。（10面）

■電気化学、ベトナムに新工場
塩ビ製粘着テープ／年産6000㌧

電気化学工業は、ベトナムのハノイ市近郊に塩化ビニール製粘着テープの新工場を建設する。自動車用ワイヤハーネスと各種の電線・ケーブルの結束・絶縁用途に。年産能力は約6000㌧。（11面）

■ホーチミン半導体協会と交流
九州半導体協議会

九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会は、ベトナムのホーチミン半導体協会と産業交流に関する覚書を結んだ。半導体の設計や製造に関する情報交換や企業交流を推進。（28面）

11月21日（木）

■三菱電機、現地幹部候補に研修
マレーシアなど12カ国／企業文化も

三菱電機は、海外関係会社に勤務する外国人の幹部候補生に研修を実施。マレーシアなど12カ国から18人の事業部長クラスが来日。経営戦略のほかに、三菱グループの歴史なども学んだ。（11面）

外国人幹部候補生の研修（三菱電機）

■電業社、インド・中東に戦略商品
ポンプ・ブロワー７機種10タイプ

電業社機械製作所は、インド、中東を軸に海外での受注拡大のため、戦略商品として高効率で、製造コストを削減したポンプ、ブロワー計７機種10タイプの新型モデルを開発した。（７面）

■au、ＬＧとスマホ開発
「isai」／狭額縁デザイン

ＫＤＤＩは、韓国ＬＧエレクトロニクスと共同開発したスマートフォン「isai（イサイ）」を発売。液晶画面は5.2㌅。「狭額縁デザイン」を採用。大画面ながらも持ちやすく、操作しやすい。（９面）

■ベトナムにＬＰＧ充填所
白井汽船

白井汽船は、ベトナム・ハナム省に液化石油ガス（ＬＰＧ）の充填所を建設する。燃料転換期を迎え、需要の大幅増が予想されるＬＰＧ供給事業に新規参入を図るのが狙い。（14面）

■シンガポール地下鉄工事受注
約300億円／佐藤工業

佐藤工業は、シンガポールの地下鉄建設工事を約300億円で受注した。新路線・トムソン線のアッパー・トムソン駅と隣駅まで約２㌔㍍で、掘削延長約3.9㌔㍍の上下線トンネルを建設。（14面）

11月22日（金）

■愛知製鋼、アジアで供給
特殊鋼／インド企業に委託

愛知製鋼は、アジアで特殊鋼の現地供給を2016年をめどに始める。５月に技術支援契約を結んだインドの特殊鋼メーカーを通じてアジア諸国の自動車メーカーに供給する。（13面）

■建築ソフト、アジア普及
日建設計／ハンガリー社と提携

日建設計は、３次元データに基づく建築プロセスのシミュレーション技術ソフトベンダーであるハンガリーのグラフィソフトと戦略的パートナーシップ契約を結んだ。アジア圏に普及。（14面）

11月25日（月）

■フィリピンに小水力発電
北陸精機／農業用水を利用

北陸精機は、フィリピンのルソン島に農業用水を利用した小水力発電装置を設置する。同国エネルギー省が発注し、国際協力機構（ＪＩＣＡ）を通じて落札した。安価で据え付けが容易。（12面）

■納豆菌で防虫剤、途上国に投入
ビッグバイオ／インド年10万個

ビッグバイオは、マラリアやデング熱などを媒介する蚊の発生を抑制する納豆菌を活用した防虫剤を製品化、海外で販売。インドで年10万個。スリランカで同１万個、ブラジルで同１万個。（13面）

11月26日（火）

■ベトナムでＣＡＤ変換
相模原の中小が新会社

板金や切削加工を手がける相模原市の中小企業が共同で、ＣＡＤ／ＣＡＭ変換の会社をベトナムに設立する。図面をベトナムに送り、変換されたＣＡＤ／ＣＡＭデータを日本で受け取る。（１面）

■国際司法裁判所に提訴も
韓国人労働者の戦時徴用

韓国の裁判所で、戦時中に徴用された韓国人労働者への損害賠償判決が日本の２社に相次いだことで、日本政府が韓国政府に「国際司法裁判所へ提訴することもあり得る」と伝えていた。（３面）

■三菱電機、ＦＡ倍増
ＡＳＥＡＮ・インド／自動車好調

三菱電機は、2015年度までにＡＳＥＡＮとインドのＦＡ機器売上高を、倍増の約1000億円に引き上げる。日系自動車メーカーが工場建設や増産体制。ＮＣ装置、ロボットの需要が急増。（９面）

■インドネシアで廃熱回収発電
ＪＦＥエンジ／２万8000㌔㍗

ＪＦＥエンジニアリングは、インドネシアの国営セメント会社セメンインドネシアから廃熱回収発電設備を受注。セメント製造時に出る廃熱を利用して発電。発電能力は約２万8000㌔㍗。（９面）

■京都中信、アジア３行と提携
取引先の海外進出支援

京都中央信用金庫は、インドのインドステイト銀行、フィリピンのメトロポリタン銀行、タイのＴＭＢ銀行と業務提携する。現地での口座開設などを提供、取引先の海外進出を支援する。（30面）

11月27日（水）

■ミャンマー警察に２輪車寄贈
スズキ／100台

スズキは、ミャンマー政府に警察用２輪車を100台寄贈した。ミャンマーで開催される国際的イベントで、要人警護などに使用。650ccの大型２輪車「Ｖストローム650ABS」がベース。（３面）

スズキはミャンマー政府に警察用２輪車を寄贈

■昭和電工、東南アに拠点新設
液体クロマト用カラム

昭和電工は、東南アジアで液体中の物質の組成や含有量を測定する高速液体クロマトグラフィー用カラムの販売拠点を2015年をめどに新設する検討に入った。生産した化学品の分析向け。（16面）

■カイセ工業、タイ増産
金属パイプ加工／アルミ管２倍

カイセ工業は、金属パイプ加工のタイ工場を増強する。月産能力で、銅管は20％増の60㌧分に、アルミニウム管は2.3倍の35㌧分に、ステンレス・鉄管は３倍の45㌧分に引き上げる。（31面）

11月28日（木）

■ミャンマーで旅客輸送
日本ロジテム／日系視察団向け

日本ロジテムは、ミャンマーで旅客輸送事業に乗り出す。日系企業の駐在員や、投資ラッシュで急増する視察団向けに移動手段を提供する。乗用車やバスなど車両40台を配備する。（１面）

■タイで車用シート撚糸
旭化成インター／年産1500㌧

旭化成インターテキスタイルズは、タイで自動車用シート向けポリエステル撚糸を生産する。ＡＳＥＡＮ向けに車用シート素材の販売を手がけている蝶理に供給する。年産1500㌧。（１面）

■カンボジアで自動車修理
デンソー・豊田通商・アイシン精機

デンソー、豊田通商、アイシン精機の３社は、カンボジアで修理などの自動車関連サービス事業を始める。「ピット＆ゴー」ブランドで直営店の運営に加え、現地企業に対しても技術指導。（７面）

■タイに車用シート生産会社
ＴＳテック／年20万台分

テイ・エステックは、タイ・プラチンブリ県に４輪車用シートやドアトリムを製造する新会社を設立する。年20万台分。主要顧客ホンダの生産拡大に加え、新規販売先の受注に対応する。（７面）

11月29日（金）

■スズキ、タイで新小型車
年産２倍・10万台／50億円投資

スズキは、タイで２車種目となる新小型車の生産を始める。高いデザイン性と使いやすさを両立しつつ、低燃費を実現。タイ工場の年産能力を２倍の10万台に。50億円でラインを増強。（７面）

■混練樹脂、タイで生産
クラレプラ／年1000㌧

クラレプラスチックスは、混練樹脂（コンパウンド）の海外生産を始める。タイで委託生産を開始し、現地で生産・販売される生活雑貨や、自動車向けへの採用を見込む。年1000㌧規模。（15面）

■住友化連合、560億円で合意
インドネシアのアルミ製錬合弁解消

インドネシアのアルミニウム製錬事業合弁解消について、日本の企業連合が保有する株式の評価額を約560億円とすることで合意した。住友化学や三菱商事など日本企業12社が出資。（時事＝15面）

TELOP

■あおぞら銀、兼松と提携
中小のアジア進出支援（18日２面）

■ダイクレ、台湾工場が稼働
熱交換器／海外第３工場（18日13面）

■工場・商業施設・住宅など整備
ワンハブ・チェンナイ工業団地（19日３面）

■ジェトロ、ラオスに事務所
ビエンチャン／進出企業増（19日３面）

■インドネシア第２工場が稼働
ケーヒン／インジェクター年500万本（19日７面）

■タイ総理大臣賞を受賞
新日鉄住金／生産性部門（19日13面）

■ニッケ、バンコクに現法
産業機材を開拓（19日13面）

■りそな、台風復興でファンド
フィリピン進出企業／120億円（19日17面）

■富士ゼロックス、ベトナム稼働
複合機など／年200万台（20日９面）

■東南アでコンサートに協賛
出光興産（20日12面）

■インドで貧困層向けに教育提供
リコー（21日11面）

■韓国製メール安全対策ソフト
キヤノンＩＴソリューが投入（21日11面）

■タイ総理大臣賞を受賞
ＪＦＥスチール／物流部門（21日13面）

■金型関連、タイで事業拡大
現地の日系が現地調達（22日８面）

■韓国ＩＴ企業と販売代理店契約
日立ソリューションズ（22日10面）

■台湾の子会社、米社と統合
大日本印刷／半導体用マスク（25日９面）

■カンボジア政府高官に26万㌦供与
住化／現地社員（26日３面）

■三浦工業、台北市に駐在所
東アジア／舶用強化（26日９面）

■三井住友建設、ミャンマー進出
ＯＤＡ／日系工場建設（26日15面）

■電子版の雑誌、簡単編集ソフト
台湾トリプルアイ（27日３面）

■新型「シティ」インドに投入
ホンダ／世界展開（27日５面）

■みずほ銀行、印チェンナイに支店
４番目の営業拠点（28日21面）

■インドネシアに石油技術
イラン国営石油（時事＝28日23面）

■インド大手ガスメーカー買収
エア・ウォーター（29日３面）

■車用鉛電池、インドネシア生産
古河電池（29日７面）

■韓国・トルコにロボットセンター
安川電機（29日８面）

■フィリピンに地デジ使節団
総務省（29日13面）

■ミャンマー現法が始動
富士フイルム（29日15面）

■荒川化学、台北に販売会社
電子材料・化学製品（29日15面）

● ひと

東南アで現地生産

上期は「液晶関連の受注増があり、中国市場での売上高が３倍に伸びた」と、ダイフク社長の北條正樹さん。だが「中国は不透明感もあり」下期はやや慎重な計画。注目しているのは東南アジアでの搬送装置需要。「現地生産に向け2014年から協議する」。（18日＝７面）

日本ブランドの高い信頼性

「作業工具は日本ブランドの信頼性が高いようだ」と、ロブテックス社長の地引俊爲さん。一時低調だったが最大輸出先の韓国向けが回復し、にっこり。経済の減速、反日感情など韓国とのビジネスは懸念材料が目立つ。「一時悪くても、大体少しすると戻る」。（22日＝９面）

アジアに多い種の抗がん剤

「国立がん研究センターにはアジア共同臨床試験の中核を担ってほしい」とメルクセローノ研究開発統括本部長の桂幸一さん。胃がんや食道がんなどアジアに多い種の抗がん剤を開発する。「独本社でなく、日本が開発品を決め試験を進める」。（27日＝16面）